

UNI_04

制作団体名	公益財団法人現代人形劇センター
公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇, その他()
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル, ノンバーバル, その他(人形劇)
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊, その他()
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸, その他()
【美術】	洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他()
【メディア芸術】	映像, メディアアート等, その他()

取り組み (該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
<input type="radio"/>	① 障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
<input type="radio"/>	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

聾者

応募する区分 (該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
<input type="radio"/>	《D 区分》公演をメインプログラムとする企画
<input type="checkbox"/>	《E 区分》ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等

(別添) カレンダーを御参照ください。

実施可能地域(実施可能な地域又は都道府県名の前に○を付してください。)

地域	都道府県
限定なし	
北海道	北海道
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんげんだい にんぎょうげき 公益財団法人現代人形劇センター		
代表者職・氏名	理事長 塚田 千恵美		
制作団体所在地	〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田 3-10-31		
制作団体 設立年月	1969年 4月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:塚田千恵美 業務執行理事:松澤文子 理事:大杉豊、小川信夫、平野 英俊、北條秀衛、築瀬恵子 監事:桑野雄一郎	理事:7名 評議員:7名 監事:1名 職員:10名	
事務体制の担当	専任 ・ 他(の業務と兼任)	Web サイト等 URL	http://www.puppet.or.jp/
本事業担当者	中西 優樹	本件連絡先	044-777-2228 nakanishi@puppet.or.jp
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	菅原 真弓

【公演団体について】

ふりがな 公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ
代表者職・氏名	代表 榎本 トオル

Web サイト等 URL	http://deaf.puppet.or.jp/
特別支援学校等 における活動実 績や障がいを持 ったアーティスト の活動を広げる 公演等の活動実 績	<p>デフ・パペットシアター・ひとみは耳の聞こえない聾者と聞こえる聴者が一緒に活動をして いるプロの人形劇団です。 聾者の持つ視覚的に豊かな表現を人形劇に取り入れることで、新しい人形劇を作ることを 目的として 1980 年に公益財団法人現代人形劇センターで企画・結成されました。 聾者が表現者として出演するだけでなく、お客様にもろう者を想定しており、視覚的に楽し むことができる人形劇の創作も目指しております。</p> <p>①特別支援学校での活動実績 2011 年度 28 校で公演、ワークショップ 2012 年度 15 校で公演、ワークショップ 2013 年度 3 校で公演、ワークショップ 2014 年度 6 校で公演、ワークショップ 2015 年度 14 校で公演、ワークショップ 2016 年度 4 校で公演、ワークショップ 2017 年度 16 校で公演、ワークショップ 2018 年度 15 校で公演、ワークショップ 2019 年度 13 校で公演、ワークショップ 2020 年度 1 公演で公演、ワークショップ 2021 年度 4 公演で公演、ワークショップ *ろう学校またはろう者の児童が中心の支援学校を含みます。</p> <p>基本的には聾学校での公演・ワークショップが多く、特別支援学校でも難聴・聴覚障害児 を対象として活動をするケースが多くあります。 それでも障がいを持つアーティストと共同をする団体なので、特別支援学校で知的や身 体に障害を持つ児童を対象とした活動をするのが比較的多くあり、他の劇団と比べても 柔軟な対応をして公演やワークショップをしています。</p> <p>②障がいをもったアーティストの活動を広げる公演等の活動実績 1980 年の結成以来 40 年以上、耳の聞こえないろう者と聞こえる聴者が一緒に活動をして います。 ここ 10 年、文化庁委託の巡回公演事業で学校での公演をしており、2021 年度は 10 校/ 2020 年度は 8 校で公演をしてきました。 また、全国各地の地方でその地域の方と連携をして実行委員会を作り、人形劇の上演も しています。 これまでに約 650 の地域で実行委員会・主催形式で上演をしており、聾者がプロとして表 現活動をしているということを全国各地の地域の方々に広げていきました。</p>

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」 出演希望調書 No.2

《D 区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体名 公益財団法人現代人形劇センター】

企画名	デフ・パペットシアター・ひとみ「河の童」	
主な対象学年	小学校高学年～高校生	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	ワークショップ	20～30 人程度
	本公演	300 人
企画の動画等の資料	URL https://www.youtube.com/watch?v=LfgOmtqwUlw	PW

公演について

主な演目 原作／作曲 脚本 演出／振付等	「河の童」 原作／火野葦平「河童曼陀羅」 演出・脚本／立山 ひろみ 作曲／佐藤 望 人形美術／本川 東洋子 振付／向 雲太郎			公演時間(80 分)
	著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>あらすじ: 河童は、のんびり、平和にくらしています。井戸は自分の井戸で、鯉やゲンゴロウ、蟹なんかと一緒に、ゆったりゆらゆら。水はキラキラ輝いていて、世界は、そこにすべてがあります。足りないものなんてどこにもなくて。 にんげんに会うと、攻撃されたりするので、なるべく会わないようにしています。でもにんげんの小さいの、こどもと遊ぶのは大好きなので、たまに相手をしてやりませう。村に雨が降らなくなったある時、突然にんげんたちは、それを河童のたたきだと考えて・・・。河童とこどもたち、そしてある少女との交流、おとなになったにんげん達と河童をめぐる物語</p> <p>作品詳細: 聾者と聴者が共に活動をするデフ・パペットシアター・ひとみが 2018 年に製作した作品です。 視覚表現に優れた聾者の表現を取り入れ、見て楽しめる作品になっています。 劇中にはほとんどセリフがなく、一部セリフのある部分では手話を使用いたします。 セリフに代わり、身体表現や人形を使ってその世界を表現しており、聞こえないことや障がいの有無に限らずに楽しめる作品です。 作中に出てくる河童と人間の大人はお互いの無理解からすれ違いを繰り返します。 その姿は今の社会を生きる人々にも重なり、無理解や偏見で物事を判断することの怖さや危うさを作品の中で描きます。 「共生社会」と言われる現代に、自分とは違う他者と生きることはどういったことなのかということ、作品を通して改めて考える機会を作ることのできる作品です。</p>			

公演従事予定者の編成 (1公演あたり)	出演者:6名					
公演に当たり必要な会場条件	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台の設置場所 (教室 <input checked="" type="radio"/> 体育館) ・舞台に必要な広さ 間口 12m 以上 奥行 6m 以上 高さ 3.6m 以上 ・電源容量(主幹ブレーカー容量) 20A ・暗転の要否(<input checked="" type="radio"/> 要)・ 不要) ・その他 					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(<input checked="" type="radio"/> 有)・ 無) 会場設営の所要時間(4 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8 時	8 時 30 分~12 時 30 分	13 時~14 時 30 分	分	14 時 40 分 ~ 17 時 30 分	18 時
派遣について	移動方法の制約等					
	運搬規模	2トントラック 1 台				

ワークショップについて

ワークショップ	(内容) 河童をイメージとした人形を作り、それを実際に生徒に動かしてもらいます。 事前ワークショップにおいて、こちらから持ちこんだ補助材料と、子ども達が家から身近なものを持って来てもらい、それを組み合わせて人形を作ります。 人形を作った上で、河童がどう動かすかを考え、実際に動かしてもらおうところまで事前に指導いたします。 事前ワークショップの上、公演当日は作中で人形を動かすシーンを入れて、自分たちの作った人形を客席で動かしてもらいます。
	(体制) 主指導者 1 名、補助者 3 名の 4 名体制で行います。 主指導者が主に作品の概要・人形の作り方を説明し、それを踏まえて人形作りする生徒達に補助者が指導をします。 人形が出来上がったら主指導者は人形の動かし方を説明して、それを踏まえて実際に生徒がイメージしながら人形を動かします。
	(目的とする効果) 河童をイメージして人形として作ることで、河童を通して作品に対するイメージを具体化し、生徒が作品に情動的に入りやすくします。 作中登場する河童は様々な形をしています。事前に自分たちの自由なイメージで河童を作ることで、舞台上に登場する河童も自然と受け入れやすくなり、作品に対するイメージを具体化することができます。 また、作品中でその河童を動かすことで作品世界に生徒自身も入り込み、よりイメージを深めて作品理解を促すことを目的としています。

企画全体について

<p>企画のねらい</p>	<p>ろう者と聴者が一緒に活動をするデフ・パペットシアター・ひとみは、視覚的に楽しめる人形劇を制作しています。</p> <p>申請作品は音声言語に頼らず、セリフも極力少なくしている作品です。そのため、聞こえない子どもはもちろん、他の障害を持つ子供も感覚的に楽しむことができます。</p> <p>また、河童と人間の姿を通じてそれぞれ異なる世界で生きるとはなにかを描いた作品です。鑑賞後、児童が作中で起こったことについてそれぞれの意見を話し合い、お互いが考えていることを共有する機会を作ります。</p>
<p>特別支援学校等での実施における工夫等</p>	<p>可能な限り、作中情報取得の均一化を目指しています。</p> <p>ワークショップを通じて事前に作品内容に触れる機会を作り、理解度を高めます。</p> <p>本編ではセリフが極力少なく、聾の児童生徒にも聴者と同レベルで内容を理解できます。また、セリフがないことは学習レベルに差がある児童生徒でも等しく楽しむことができます。そういったように極力どんな児童生徒でも楽しめる工夫をしています。</p> <p>また、事前のヒアリングを重ねてどういった種類の障害を持つ生徒がいるかを事前に把握し、十分な準備をして臨みます。</p>
<p>取り組み②で応募する場合、特に重点的に取り組んできた課題(障がい)</p>	<p>ヒアリングを重ねていき、どうやってそれぞれの障害の種別にあった対応ができるかを考えるのが大きな課題です。</p> <p>これまでデフ・パペットシアター・ひとみはお客様の中に聾者・知的・身体などといった障害を持つ方も多く、そういったお客様と接するノウハウも持っています。</p> <p>それでもやはり障がいの種別だけでなく個人個人によって対応が大きく変わるので、その学校・その生徒にあった対応をヒアリングの中で考えていきます。</p>
<p>協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等</p>	<p>公演実施団体の中には手話ができる聴者がおり、聾者とのコミュニケーションでは手話で対応することができます。</p>



河童の盆

かわのわっぱ

この世界は、
あなたには
どう見えて
いますか？

河童といえば、日本人にとっても親しみのある「あやかし」ではないでしょうか。

ときには、川に馬や人間をひきずりこむといういたずらな存在として、また、ときには、畏れ敬われる、神様のようにも描かれています。

地域によってもさまざまな伝説や言い伝えとして、受け継がれてきました。

今回デフパペットでは、河童と人間のすれ違いや、河童にとっての大切な世界を丁寧に描いて、

異なる世界に生きている河童と人間に焦点をあて「共に生きるとは」その本質に迫ります。

「デフ・パペットシアター・ひとみ」だからこそ出来る表現の可能性に迫りました。ぜひご期待ください。



デフ・パペットシアター・ひとみは、
ろう者と聴者の感性を活かし、
新しい人形劇の表現に挑みつづけてきました。
本作も、各分野のさまざまなアーティストと共に、
メンバーとのヒアリングを重ね、
これまでの枠を超えた人形劇を創造しました。

河童と人間との物語を
ダイナミックに描く

あらすじ

河童は、のんびり、平和にくらしています。井戸は自分の井戸で、鯉やゲンゴロウ、蟹なんかと一緒に、ゆったりゆらゆら。水はキラキラ輝いていて、世界は、そこにすべてがあります。足りないものなんてどこにもなくて。にんげんに会うと、攻撃されたりするので、なるべく会わないようにしています。でもにんげんの小さいの、こどもと遊ぶのは大好きなので、たまに相手をしてやります。村に雨が降らなくなったある時、突然にんげんたちは、それを河童のたたりだと考えて……。河童とこどもたち、そしてある少女との交流、おとなになったにんげん達と河童をめぐる物語。

スタッフ

原作：火野葦平「河童曼陀羅」(国書刊行会) 脚本・演出：立山ひろみ
人形美術：本川東洋子 舞台美術：大島広子
作曲・音楽：佐藤望 舞台監督：鈴木文
振付：向雲太郎 照明：後藤義夫

【令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書①】

ID	UNI_04	分野 (大項目)	演劇	分野 (中項目)	児童劇(人形劇)	区分	D区分
公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ			制作団体名	公益財団法人現代人形劇センター		

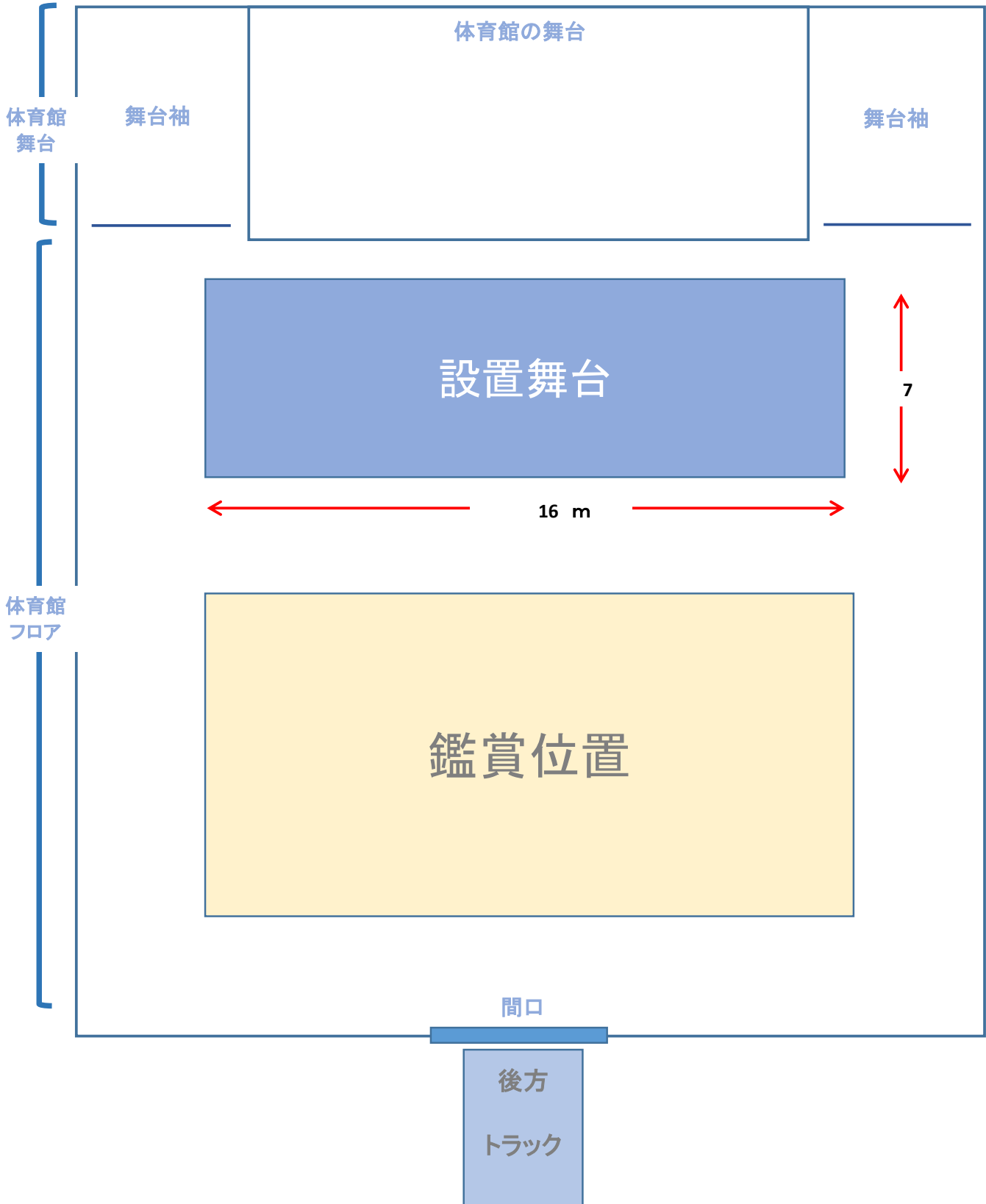
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	昼食をとるため使用いたします。				可	
搬入について	来校する車両の大きささと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			長さ7m 1台					可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			50m				可	
	搬入経路の最低条件			横づけできない場合は、雨に当たらない経路が必要です。				不可	
	理由			道具を濡らさないため。				/	
	設置階の制限 *			エレベータがない場合は2階が限度					可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m	高さ	1.8m		可	
WSIについて	参加可能人数		20～30人程度					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	小学生	中学生			可	
	所要時間の目安 単位:分		90分					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			300人					可
	舞台設置場所 *			フロア				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	16m	奥行	7m	高さ	3.7m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *							可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要			不可
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	照明効果を上げるため			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			不可	
		ピアノの事前調律 *		不要				不可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		舞台設置エリアに降りてない				不可	
公演に必要な電源容量		35A	※主幹電源の必要容量				不可		
その他特記事項							応相談		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		50m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



UNI_04

D区分

デフ・パペットシアター・ひとみ

前日仕込みの有無

あり

10月3日	月	
10月4日	火	
10月5日	水	
10月6日	木	
10月7日	金	
10月8日	土	
10月9日	日	
10月10日	月	
10月11日	火	
10月12日	水	
10月13日	木	
10月14日	金	
10月15日	土	
10月16日	日	
10月17日	月	
10月18日	火	
10月19日	水	
10月20日	木	
10月21日	金	
10月22日	土	
10月23日	日	
10月24日	月	
10月25日	火	
10月26日	水	
10月27日	木	
10月28日	金	
10月29日	土	
10月30日	日	
10月31日	月	

11月1日	火	
11月2日	水	
11月3日	木	
11月4日	金	
11月5日	土	
11月6日	日	
11月7日	月	
11月8日	火	
11月9日	水	
11月10日	木	
11月11日	金	
11月12日	土	
11月13日	日	
11月14日	月	
11月15日	火	
11月16日	水	
11月17日	木	
11月18日	金	
11月19日	土	
11月20日	日	
11月21日	月	
11月22日	火	
11月23日	水	
11月24日	木	
11月25日	金	
11月26日	土	
11月27日	日	
11月28日	月	
11月29日	火	
11月30日	水	

12月1日	木	
12月2日	金	
12月3日	土	
12月4日	日	
12月5日	月	
12月6日	火	
12月7日	水	
12月8日	木	
12月9日	金	
12月10日	土	
12月11日	日	
12月12日	月	
12月13日	火	
12月14日	水	
12月15日	木	
12月16日	金	
12月17日	土	
12月18日	日	
12月19日	月	
12月20日	火	
12月21日	水	
12月22日	木	
12月23日	金	
12月24日	土	
12月25日	日	
12月26日	月	
12月27日	火	
12月28日	水	
12月29日	木	
12月30日	金	
12月31日	土	

1月1日	日	
1月2日	月	
1月3日	火	
1月4日	水	
1月5日	木	
1月6日	金	
1月7日	土	
1月8日	日	
1月9日	月	
1月10日	火	
1月11日	水	
1月12日	木	
1月13日	金	○
1月14日	土	
1月15日	日	
1月16日	月	○
1月17日	火	○
1月18日	水	○
1月19日	木	○
1月20日	金	○
1月21日	土	
1月22日	日	
1月23日	月	
1月24日	火	
1月25日	水	
1月26日	木	
1月27日	金	
1月28日	土	
1月29日	日	
1月30日	月	
1月31日	火	

2月1日	水	
2月2日	木	
2月3日	金	
2月4日	土	
2月5日	日	
2月6日	月	
2月7日	火	○
2月8日	水	○
2月9日	木	○
2月10日	金	○
2月11日	土	
2月12日	日	
2月13日	月	○
2月14日	火	○
2月15日	水	○
2月16日	木	○
2月17日	金	○
2月18日	土	
2月19日	日	
2月20日	月	○
2月21日	火	
2月22日	水	
2月23日	木	
2月24日	金	
2月25日	土	
2月26日	日	
2月27日	月	○
2月28日	火	○